



町制施行50年を祝う。

■2009年7月27日発行 ■発行所 北海道鹿追町議会
 E-mail: gikaoi@town.shikaoi.hokkaido.jp URL: http://www.town.shikaoi.hokkaido.jp/

第103号

町制施行50年の記念写真

いかおい

私たちの

町議会



No.103

平成二十一年七月二十七日発行 発行/鹿追町議会
 〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町一丁目十五 編集/広報特別委員会
 10156 六六一三一

議会活動

<4月>

- 27日 総務常任委員会
- 30日 産業常任委員会

<5月>

- 12日 広報特別委員会
- 13~14日 基地対策特別委員会視察研修(真駒内駐屯地外)
- 22日 総務常任委員会施設調査(町内)
- 26日 総務常任委員会
- 27日 全員協議会
- 28日 第7回臨時会、産業常任委員会

<6月>

- 3日 全員協議会、産業常任委員会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 広報特別委員会
- 9日 産業常任委員会施設調査(町内)
- 10日 本会議(19日まで) 議会運営委員会、全員協議会、基地対策特別委員会
- 15日 総務常任委員会
- 16日 一般質問、全員協議会、産業常任委員会
- 19日 本会議、総務常任委員会、議会改革・活性化等調査特別委員会
- 23日 上士幌町議会産業常任委員会行政視察来町
- 29日 議会改革・活性化等調査特別委員会
- 30日~1日 北海道町村議会議長会議員研修会

<7月>

- 6日 富良野市議会行政視察来町、広報特別委員会
- 9日 七飯町議会行政視察来町
- 10日 町制施行50年記念式典
- 14日 総務常任委員会
- 15日 広報特別委員会、産業常任委員会
- 16日 全員協議会、議会改革・活性化等調査特別委員会、議会運営委員会
- 21~23日 総務常任委員会行政視察研修
- 24日 産業常任委員会、全員協議会
- 27日 第8回臨時会

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 川染 洋 |
| 副委員長 | 山岸 宏 |
| 委員 | 安藤 幹夫 |
| | 狩野 正雄 |
| | 飯沼 新吾 |



リサイクルプラザ宮の沢



議員研修・橋本五郎氏講演



セラミックアートセンター



イーアス札幌フードコート

6月30日~7月1日、札幌市・江別市において議員研修会と視察研修を実施しました。全議員が参加しての研修の目的は、議会の役割と議員の資質向上、行政課題についての調査研修にあります。

- 1.全道議員研修会(札幌市)「どうなる日本の政治と経済」
- 2.札幌市リサイクルプラザ宮の沢「資源リサイクルシステム」
- 3.イーアスサッポロフードコート「鹿追町の物産販売状況」
- 4.江別市セラミックアートセンター「地域資源の活用による産業振興、施設運営」

鹿追町町制施行50年の年に3人の名譽町民が議会の議決のもとに決定されました。3氏はいずれも町政はもちろんのこと、産業界でも大きな功績を残されました。今月の議会だよりの表紙写真は50年前の議会議員です。その中に福原治平氏の姿もあります。佐藤茂氏、岡野友行氏ともどもお元気で御指導をお願い致します。

(広報特別委員 狩野 正雄)



昭和34年4月30日改選議会議員・町三役等開町は同年9月1日(敬称等略)

議会とは何か

議会改革・活性化等調査特別委員会 を設置し「議会のあり方」を調査。

地方分権下における議会の役割とは？ 多様化する住民の意思をどう反映させるのか？ 先例にとらわれない新たな試みへの挑戦は？

議会では6月定例会の最終日に議会改革・活性化等調査特別委員会(埴淵賢治委員長)を設置しました。

この委員会では地方分権時代に対応した新たな町議会の活性化を目指すために、いかに町民の理解を得ながら議会としての役割を果たしていくのか調査します。

そのためには、議会議員の「定数」「報酬」「委員会構成」「議員の資質」等、議会改革及び活性化を目指し具体的な議論を始めます。

町議会議場

第2回定例議会

町制施行50年を祝う

第2回定例議会は、6月10日から19日までを会期として開催されました。

本年は昭和34年9月1日に町制が施行されてから50年の節目の年にあたり、一般会計補正予算に1千44万円の町制施行50年記念事業費が提案され可決。去る7月10日には記念式典も盛大に実施されました。町では、鹿追観光DVDやイメージソングの作製、音楽祭の開催等を計画しています。



町制施行50年記念式典

条例制定・条例の一部改正
「鹿追墓地」、「中鹿追墓地」の廃止手続きを実施するため移転に伴う費用等の減額・免除等の規定を改正する鹿追町共同墓地使用条例の一部を改正する条例や町環境保全センターの「廃棄物等」の受け入れに係わる料金の設定を定めた同センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例等4件を原案通り可決しました。

補正予算

6月10日と最終日の19日に平成21年度の補正予算が審議されいづれも原案可決されました。

10日の一般会計補正予算審議ではバイオガスパラント利用組合に「さつまいも」、「アピオス(マメ科の一種)」、「菜種」等の新規作物栽培委託料3百28万円の追加、同施設から製造される消化液を園芸用、葉面散布用の製造委託業務に1百80万円追加、町制施行50年記念事業費等を併せ総額2千4百34万6千円が追加されました。



バイオガスパラントで製造した園芸用消化液試供品

最終日の19日には、地域活性化経済危機対策費2億2千万円を含む(地域活性化経済対策費の内訳については6ページに掲載しています)補正予算2億2千5百

財産の取得

万円が追加され原案可決。一般会計歳入歳出の総額を53億4千8百54万5千円としました。

今年度より鹿追消防署に配置されるJA共済連から寄贈された救急自動車の器材及び高規格仕様の装備等の財産の取得について原案の通り可決されました。

意見書

「基地対策予算の増額等を求める意見書」を基地対策特別委員会の発委(委員会から議会へ提案)として提出し可決され、総理大臣をはじめ関係大臣に意見書を送付いたしました。

陳情

平和区町内会(藤田農夫 治区長)から提出された「住民の安全な生活を確保するために町道の整備を求める陳情書」は産業常任委員会に付託され、最終日に採択されました。

「名誉町民」の提案に同意決定しました。

名誉町民は町の行政、産業及び経済等の発展に貢献しその功績が卓越し、深く町民の尊敬を受ける者に町長が議会の同意を得て決定するものです。福原治平氏、佐藤茂氏、岡野友行氏の3名の「名誉町民」の提案があり、同意の上決定されました。各人の功績は次のとおりです。



福原治平氏

昭和22年7月に「スーパー福原」を創業以来、卓越した手腕で鹿追町商業を常にリードし、道内での一大企業に成長させ、その間町議会議員を3期12年務められました。昭和40年6月には別湖湖畔に「ホテル福原」



佐藤 茂氏

を開業、別湖観光の振興にも大きく寄与されました。一方、ホテル内の美術館や町内の福原美術館には、「神田日勝」の絵画をはじめ国内外の美術品が展示され本町の文化発展にも大きく貢献されています。

昭和30年5月に鹿追村議会議員に当選以来、通算17年余りの永きにわたり、町政に参画され、献身的に尽力し、大きな功績を残されました。

また、昭和35年5月に鹿追町の農業協同組合理事に就任以来、専務理事、組合長理事としても活躍され、



岡野友行氏

通算42年の永きに亘り本町農業経営の安定に大きく貢献されました。

昭和27年3月に鹿追町役場に奉職後、昭和62年に鹿追町長に当選。以来3期12年にわたり町政発展のため多大な功績を残されました。特に、町民生活の安定と長寿社会活力の維持増進を目的とした「年輪の村」構想を基本とした町づくりを推進されました。

また、鹿追高校生を対象にしたカナダ姉妹町への短期留学制度を創設するなど自治、社会、教育の各分野にわたり多大な貢献をされました。



野正雄議員

Q 環境保全センターを見て楽しむ工夫は

A 説明機器の充実などを検討

(質問)

旭山動物園は、発想の転換や工夫したユニークな動物の展示をしており、全国から多くの見学者が訪れ地域経済に波及効果をもたらしています。

農業や観光資源さらには自然景観を組合わせた展示や利活用を研究することが必要ではないでしょうか。

(答弁) 田町長

地域の魅力を総合的に高めていく、「地域づくり」の視点が重要視されています。地域住民の誇りや愛着、福祉、教育、文化、環境などと連携した展開を基本に、あらゆる資源や施設の連携強化を進めることで、相互理解と社会的交流から生ま

れる人材育成や経済効果も大きいものと考えています。

(質問)

イベント会場や道の駅で農産物の展示コーナーを設置しては。

(答弁) 大井農業振興課長
JAの協力で鹿追の主要農産物、6点ほどプランターで展示します。



道の駅がおい・農産物展示

(質問)

然別湖の冬期間の集客としてワカサギの穴釣り、ホテル前のウグイを観光客の釣り体験として解放しては。

(答弁) 黒井商工観光課長

冬期間コタン村の開設をしており、景観がワカサギ釣りにマッチするか。ウグイ釣りはレジャーが駆除対策として行うか、目的を明確にするなどそれぞれ検討してまいります。



飯沼新吾議員

Q 国の経済危機対策予算で懸案事項の実現を

A 懸案事項の点検をし、積極的な活用を図ります

(質問)

国は100年に一度といわれている、経済危機を回復させるため、21年度は当初予算の88兆円に加えて、経済危機対策関係経費として14兆円の補正予算が可決され、今後は随時予算の執行がされます。

景気回復とはいえ国の膨大な借金政策は理解できない部分がありますが、しかし鹿追町としても今後更に国からの交付金が厳しい時代を迎えることを想定すると、今回の補正予算を含む21年度予算を如何に上手に活用するかが将来の活性化や財政に大きく影響するも



(答弁) 田町長

国の補正予算には調整と

(質問)

環境保全センターや関連施設の見て楽しむ工夫は。

(答弁) 大井農業振興課長
環境保全センターは見学者が多く、勉強や見学する施設としてアピールしていく必要性からもう少し環境の整備をする必要があります。現在の事務所では説明場所としては狭く説明機器も不足しており、将来的には整備を充実させる必要があると思いい現在内部で検討しています。



埴淵賢治議員

Q 神田日勝記念美術館の併設館増設の考えは

A 必要性は認識、更に検討

(質問)

日勝館は、平成5年開館以来、直営として16年間管理・運営をされており観覧状況では初年度6万6千7

91人をピーク時として、平成19年度の決算では1万864人と減少傾向にあります。現在運営のあり方としては、日勝館の他に、町民ホールの中で短期の展示会場として使用されております。今後は、実態を踏まえ、方策として併設館を増設し、絵画展をはじめ、彫刻、陶芸、写真展等々の芸術作品を拡充すること、両施設に相乗効果が生まれると考えられますが、併設館について伺います。

(答弁) 白井教育委員長
今年度の教育執行方針では、日勝美術館友の会の協力をいただきながら、企画展、更に他の美術館と連携し、併せてホームページを活用しながら「芸術のまち鹿追町」を全国に向けて発信するところです。今後どんな施策を展開していくべきかを検討しております。



神田日勝記念美術館

(質問)

予算権を持っている町長として、どうこの辺を判断されているのか伺います。

(答弁) 田町長

日勝さんの絵は常設であり、併設する特別展示場は必要と認識をしていますが、町民の理解を得る必要があります。

のであります。けして無駄遣いするものではなく将来を見据えた本町の課題懸案事項等々の総点検をし、事業の導入を検討されるべきかと思いい、町長の所信を伺います。

関連する各種事業等が予算化されています。中でも「地域活性化・公共投資臨時交付金」は基本的に補助残の90%を交付金で交付し、最終的に自治体負担が数%で事業の実施が可能という制度も創設されています。各省庁の補正予算の具体的な制度設計内容を確認し、本町で近い将来に必ず懸案事項として出てくる問題を精査し積極的な活用を図ります。



葛原昇議員

Q 職員の派遣人事に対する考え方は

A 施設の経営安定化のための当面の措置

(質問)

本年4月1日付けの町職員人事において、社会福祉

法人が経営する介護老人保健施設に町職員が事務長として派遣されました。町民の間では、「派遣された職員の人件費は、派遣先の法人が町か、どちらが負担するのだろうか」という素朴な疑問が存在しています。この際、町の職員を派遣することとした経緯や背景、意図あるいは狙いなどをお聞かせ願います。

又、次の点についてご意見を伺います。
当該施設の事務長は、今後も町職員を引き続き充てるべきと考えるか。
派遣職員に係る給与負担区分について、公益法人等への一般職の地方公務員の派遣に関する法律に基づく鹿追町条例との整合性、解釈等を示していただきたい。

(答弁) 田町長

この施設は、町が全面的に支援して、大きな行政目的を達成するために建設した施設であり、運営について町としても大きな関心を持って係るのは当然と考え



介護老人保健施設もみじの里

ています。事務長職は施設の要であります。前任者の退職以降不在となっており、諸般の事情を考慮し施設側と協議の結果、当分の間、町の職員を充てることで経営の安定化を図ることを大きな目的としています。について、あくまでも当分の間であり、施設の自助でできる状況になれば基本に戻して参りたい。

について、派遣職員の給与の負担については、「町の事務及び事業の効率化の実施が図られる場合については、条例の定めるところにより給与を支給できる。」とされており、何ら問題は無いものと考えております。



川染洋議員

Q 分権、鹿追町でバスポートの発券を
A 地元で出来るようにしたい

国の機能が地域に分解され始めている時代です。分権が進むと住民にも影響を及ぼすと思うが、住民にとってはその実感があまりないのではないかと、町長は分権についてはどう認識されているか伺いたい。

私は以前の一般質問で「分権を使ってバスポートの発券を」の質問をしたが、「あまり必要では無いのではないかと」との答弁であった。今の町政策では毎年50人から60人の子どもたちがカナダに行くのですから、町のステータス、新しい夢の空間創造のためにも是非バスポートの発券をするべき

ではないか。

(答弁) 田町長
基礎自治体として市町村がしっかりと財政基盤を確立した上で自己決定、自己責任の下に町づくりを進めなければならない。

北海道からの権限移譲は積極的に移譲を受けることにより行政サービスにつながり行政能力も深まると考えている。
バスポートの発券は、地元で出来るようにしていきたい。

(質問)
分権の下に北海道では道職員を減らしているが、このことは鹿追町にどんな影響があると考えているか。

(答弁) 田町長
知事の足元は減らないで、地方の道職員から減らしていることには疑問を感じているが、市町村の行政改革と比べたらまだ甘いと思う。

(質問)
道職員が減ることは、分権が進むことで、市町村の

仕事が増加することにつながり、受ける市町村では仕事があふれ、住民も協働をしなければならなくなると思うが、「行政区」組織である協力団体を「町内会」などに改め、法人化を考えてどうか。

(答弁) 田町長
私も早く改めるべきと考えているので、行政側からアプローチをして行く必要があると考えている。



お気軽に 議会の傍聴を

定例会は、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれます。一般質問は定例会中に開催されます。お問い合わせは、議会事務局まで。(電話66-2311 内線311)

地域活性化経済危機対策費

4月10日に決定された「経済危機対策」(政府・与党会議等決定)において「地方公共団体において、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域の実情に応じるきめ細かな事業を積極的に実施する」ことを主旨とした交付金です。鹿追町では次の事業に支出されます。

100万円以上の事業		
修繕料(役場庁舎、白樺団地、新光団地外)	5,918万円	防災用地図システム購入費
交通事故防止看板設置工事	510万円	鹿追7号線外安全施設設置工事
戸籍管理委託料	2,500万円	家畜伝染病等防疫車購入費
もみじ工房増築工事	1,600万円	中瓜幕南部西21線外安全施設整備工事
農芸公園樹木委嘱手数料	300万円	町立病院備品購入補助金
町営牧場看視舎住宅改修工事	420万円	鹿追町民ホールボイラー更新工事
町営球場バックネット設置工事	1,144万円	西町2丁目東通り防塵処理工事
然別湖畔園地整備工事	500万円	泉町2丁目仲通り防塵処理工事
学校校務用コンピュータ購入費	868万円	鹿追9号線東南通り防塵処理工事
保育用備品購入費	400万円	鹿追9号線東仲通り防塵処理工事
夢創造館備品購入費	300万円	上然別18号線防塵処理工事
ライディングパーク乗用3連アプローチモア購入費	403万円	鹿追北6号線防塵処理工事
災害対応用エアータント購入費	480万円	

総務



所管施設調査報告

総務常任委員会

5月22日(金)に実施しました町内施設調査の内容を報告いたします。

(1)分譲地 いずみ野団地第3分譲地の販売状況は、26戸中11戸売却済、2戸予約の状況です。瓜幕の第2分譲地は、町が買い戻し、2戸の公住と1戸の高齢者住宅を建設します。

(2)ごみ最終処分場では、5年経過(15年計画)し、埋立率28%と順調ですが今後の課題では、廃棄物の排出抑制、浸出水処理施設の機械メンテナンス、有害鳥獣対策があげられ、更に処理場が役目を終えた後の次期計画が必要です。

(3)ひまわりセンター(資源ごみ)では、リサイクル意識の高揚を図るため、見学会な



どの開催による意識の啓蒙を図る必要性を確認しました。

(4)瓜幕ライディングパークでは、各学校の利用で情操教育を推進しているが、観光面の活動が今後の課題。道の駅つりまは、直売所の拡張、改修検討しているが、エリア全体を指定管理者制度で運営する事も含め議論の必要性を確認。

(5)消防の運営は、平成24年までに消防広域化を。又、平成28年までには、無線デジタル化を目指しているが、十勝5消防本部を1本部にすることは、問題があると解されま

町道の整備計画で 調査を実施

産業常任委員会

6月9日(火)産業常任委員会の所管する町内施設の管理状況及び整備計画について調査を実施いたしました。子供の通園、通学路など安全な生活確保のため町道整備で調査。

オシヨロコマ孵化養殖施設の管理状況を調査。工事中の「農芸公園」、管理運営、整備プランなど企画面での連携を要望。

北瓜幕旧西原研究所跡地施設の利用計画やアヒオス、ケールなど試験栽培作物の説明を受ける。

然別湖ネイチャーセンターより体験メニューやツアー客の動向をうかがう。新型インフルエンザの広がりでキャンセルも。

産業



藤田牧場の宿泊コテージを見学、教育ファームにより農業への関心と新しい雇用を生み出す。

整備された町営牧場のパドック。入牧牛の管理向上のため計画的なパドック整備を行うべき。町営牧場の経営面にも注目してまいります。

帯広開発建設部の担当者より国営美々地区かんがい排水事業の目的と工事の進め方について研修。(観内)

国道274号改良にとまない、自然景観に配慮した道路整備(ヒューポイント設置)の計画を国土交通省の職員が説明。(瓜幕26号)

